

第15回現代短歌新人賞 受賞作が決まりました



さいたま市が主催し、市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興を目的に、歌壇に新風をもたらす歌人を表彰してきた「現代短歌新人賞」。その第15回受賞作が、^{とみこ}富田睦子さんの第一歌集『さやの響き』（本阿弥書店 2013）に決まりました。

「私にとって短歌は、日常の中に不意に入り込む空白や飛び出てくる部分を言葉にしたものです。今後はもっと広い世界に目を向けつつも私という基礎から足を離さぬように歌っていきたいです。」（富田さんの受賞の言葉）

「現代に生きる女性が妊娠し、出産し、育児していく過程を、手ざわりで把えるように、なまなましく、新鮮にうたいあげた点に、この歌集の特色があり、作者の将来を窺わせるに足る才能を感じさせる歌集であった。」（選考委員講評）

受賞作品や選考過程については、雑誌「ミセス」（文化出版局）2015年3月号に記事が掲載されています。図書館でも所蔵していますのでご覧ください。

表彰式はこの3月8日に行われ、あわせて選考委

員による「大西民子を語る」と題した記念座談会が開催されました。

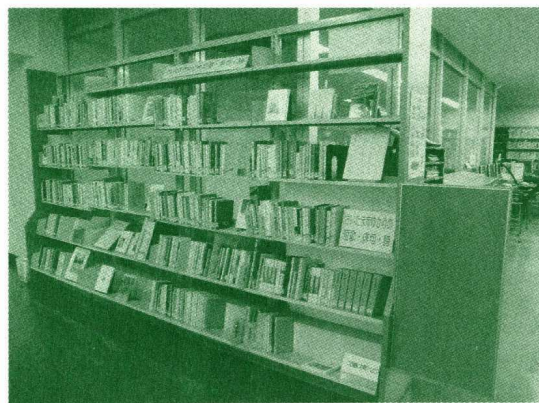
記念座談会で取り上げられた大西民子（1924-1994）は、現代短歌新人賞設立のきっかけとなったさいたま市ゆかりの歌人です。昭和24年（1949）に盛岡市から大宮市（現さいたま市）に移住してきた大西さんは、埼玉県の職員として県立文化会館や県立図書館等で勤務する傍ら作品を発表、歌集「まぼろしの椅子」をはじめとする多くの作品を残しました。また、現代歌人協会理事や、「埼玉新聞」の歌壇や「大宮文芸」の選者等を歴任し、短歌の普及にも尽力しました。平成4年（1992）には紫綬褒章を受章しています。

その大西さんにちなんで、大宮図書館では2階の公開図書室に「大西民子 資料展示コーナー」を設けています。自筆の色紙などゆかりの品を展示し、関連書籍の紹介を行っています。これを機会に、郷土の歌人である大西民子の作品にぜひ触れてみてください。



→
歌集は、ゆかりの作家の作品を集めたコーナーでご覧いただけます

大宮図書館の大西民子コーナー
←



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> （下のQRコードを読み込んでください）

北浦和図書館 832-2321	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
東浦和図書館 875-9977	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568
馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 今回は、荒川とびん沼に連なる歴史を特集しました。びん沼は釣りスポットとして有名ですが、桜スポットでもあるのです。春の日差しを浴びながら、ゆったりとした散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

次回発行予定：8月15日（年3回発行）

